

I 本校の教育

1. 教育方針

- (1) すべての教育活動は、子供を主体として行うべきであることの基本にたつて実践する。
- (2) 豊かな人間性を養い、人間尊重の教育を進める。
- (3) 子供の学習意欲を高め、個性の伸長を図る。
- (4) 子供の発達段階に応じた健康安全の教育と体力づくりに努める。
- (5) 交通安全に関する理解を深め、実践する態度を身につけさせる。

2. 教育目標

『豊かな感性と知性を身につけ、たくましく生きる子供を育てる』

- (1) 心の豊かな子 ○美しいものに心を動かし、感性豊かで温かい子供に
- (2) 健康で明るい子 ○健康な体と明るい心の子供に
- (3) 礼儀正しい子 ○礼儀正しく品位のある子供に
- (4) よく考える子 ○筋道をたてて考え、追究し創造していく子供に
- (5) 仲良くできる子 ○互いの人権を尊重し、認め合い、仲良く力を合わせて行動できる子供に
- (6) たくましく生きる子 ○21世紀をたくましく生きる子供に

3. 本年度教育実践の重点

(1) めざす学校像

す てきな言葉がいっぱい
な かよしの輪がいっぱい
や る気いっぱい
ま ごころいっぱい

(2) 実践の課題と教師の構え

「子供の心に寄り添い、日々新鮮な気持ちで取り組む教師のあり方への不断の問いかけ」を根底にすえ、子供の学ぶ力の向上と心の教育を通して、子供を正しく変容させられる教師をめざす。

ア 目くばり、気くばり、心くばりに満ちた学級経営の確立

○児童愛に徹した学級経営の実践に努める。

○子供の学びに適した学習環境の構築に努める。

○学校教育目標達成に向け、子供一人一人を大切にしたい学級経営に努める。

○尊敬される教師、たゆまず努力する教師をめざす。

イ 授業実践の充実深化

○算数科を中心として授業実践に努める。

○講師を招へいして指導を受け、教育技術及び指導理論を確かなものにする。

○基礎学力の定着と学ぶ力の向上のために授業時数の確保に努め、一時間一時間の授業を充実させる。

ウ 人権教育の充実

- 人権教育について授業を通しての研究に力を注ぎ、指導力を高める。
- 人権意識の高揚をめざし、どんな小さな問題にも粘り強く真剣に取り組む。
- 教師自身の人権問題に対する研修活動を強化する。

エ 特別支援教育、生徒指導、道徳教育、交流教育の充実

- 特別支援教育の充実を図る。
- 子供に求める生活規律を教師自らが実践する。
- 子供の願い、訴えを子供の目線で考える。
- 道徳の教科書等を使用して、系統的、計画的な指導をする。
- 子供の将来に向かって意味のある交流教育の実践と記録の集積をする。

オ 安全教育・健康教育・学校美化の実践徹底

- 日常の安全点検の徹底を図る。
- 子供が生き生きとする健康教育の実践に努める。
- 学校の諸環境の現状を適切に把握し、教職員と子供と一体となって安全・美化に努める。

砂山未来の100年プロジェクト【砂山ビジョン】

－「地域とともにある学校」の創造－

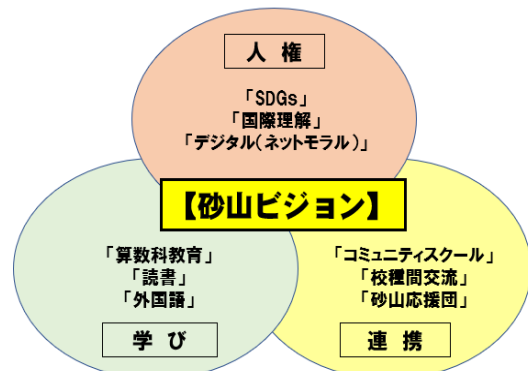
「砂山未来の100年プロジェクト」～砂山ビジョン～

令和3年度に砂山小学校は創立100周年を迎えた。「不易」と「流行」を視点で、100年の伝統を大切にしながら、未来の100年を見据えた新たな歴史と伝統を築いていくための指針として、「砂山ビジョン」を作成した。具体的には、『人権』『学び』『連携』を三本柱にして、『人権』では、「SDGs」「国際理解」「デジタル(ネットモラル)」、『学び』では「算数科教育」「読書」「外国語」、『連携』では「コミュニティスクール」「校種間交流」「砂山応援団」をキーワードに学校教育活動の改善に取り組んでいく。

これからの100年を見据え、時代の変化に対応し、多様な人々と交流しながら、共に支え合う心豊かな子供を育む学校づくりを行い、未来の砂山小学校が、「地域とともにある学校」になることを目指していく。

子どもたちの今の大切さの中に未来を見る

「砂山未来の100年プロジェクト【砂山ビジョン】」とは



時代の変化に対応し、多様な人々と交流しながら、共に支え合う心豊かな子供を育む学校づくり

未来の砂山小学校

